

**授業概要**

社会政策とは、私たちの暮らしにかかわる重要な政策です。格差を緩和し、労働環境を整え、民主主義を实践するために国民にとって必要な政策でもあります。この授業では前半で、社会政策の歴史や背景を学び、社会政策が具体的にどのような影響を私たちに与えてきたのかを学びます。後半では日本の雇用政策や社会保障制度の概要を欧米諸国との比較をしながら学びます。グローバリズムによって日本型雇用慣行の特徴だった企業内福祉が大きく変化した今、社会政策は国民の福祉を大きく左右するようになりました。この授業は身近なことから理解を深める社会政策論の入門講座です。

**授業計画**

第 1 回	私たちの暮らしと社会政策(ガイダンス)
第 2 回	ヨーロッパにおける社会政策の歴史
第 3 回	救貧法・チャリティから社会政策へ
第 4 回	社会政策と経済政策
第 5 回	福祉国家の歴史と思想
第 6 回	協同組合・労働組合について
第 7 回	自由主義の変遷
第 8 回	新自由主義と社会政策—市場の失敗とセイフティー・ネット
第 9 回	社会保障について
第 10 回	日本における雇用と労働政策
第 11 回	正規・非正規雇用
第 12 回	雇用・労働・賃金
第 13 回	男女共同参画社会の形成
第 14 回	労働生産性とワーク・ライフ・バランス
第 15 回	まとめ・補填・復習
第 16 回	定期試験

**到達目標**

- ① 雇用政策や社会保障制度などの意義と市場経済との関係を学ぶことができる。
- ② 社会政策の歴史を理解できる。
- ③ セーフティー・ネットとしての社会政策の重要性を理解できる。

**履修上の注意**

適宜課題や確認テストの連絡、資料の提示などで Teams を使用するので毎回確認すること。

**予習・復習**

Teams の資料をよく読み自分の意見をまとめること。

**評価方法**

定期試験(50%) + 平常点(確認試験や課題など合わせて 50%)

**テキスト**

特に定めない。Teams に資料を提示する。